

✿ 毎月23日は「福岡市 子どもと本の日」です ✿

～ 子どもの読書活動を推進しましょう ～

□ マネリ化をお感じですか？ 「朝の読書の時間」

「朝の読書推進協議会」が全国の小・中・高等学校の「朝の読書」の実施状況を調査した結果が同協議会のホームページに掲載されていました。（平成27年6月1日現在。実施校数：小学校：16,975校、中学校：8,696校、高校：2,226校）それによると、朝の読書を実施している学校数の割合は全調査校数の75.7%でした。校種別では小学校：80.3%、中学校：81.5%、高等学校：44.4%となっています。実施規模は88.9%の学校が「全校一斉に」実施、また実施時間は53.8%の学校が10分間、33.7%の学校が15分間、次に、実施回数については毎日という学校が最も多く：34.7%、次が週1回：21.7%、その次が週2回：13.5%でした。

さらに読む本の対象について、雑誌も認めている：3.0%、漫画も認めている：5.9%、雑誌と漫画の両方とも認めている：2.1%となっていました。（いずれもすべての校種をまとめた数値。実施規模以下の質問については校種別の数値は不明。）このように特に小・中学校では、「朝の読書」が全国的にかなり多くの学校で位置づいていることがわかります。

朝の読書が話題になり始めた頃、「朝の読書実施の四原則」が提唱されていました。それは、

○みんなでやる ○毎日やる ○好きな本でよい ○ただ読むだけ

というものです。しかし、年月が経つにつれ、「マネリ気味でこのままでいいのかなと思う」などの声が聞かれるようになってきているようです。そこで、こんな方法はいかがでしょうというひとつのアイデアを紹介します。

☞「指定図書ウィークの設定」

- ・今週は「小説・物語」のように読む本の分野を指定します。（他にも伝記、社会生活・家庭生活に関するもの、理科・数学に関するものなど、自由に設定します。）
- ・読む本は学校図書館から前週の昼休みや放課後を利用して探し、借りることとします。
- ・毎月第1週は指定図書ウィークというように実施時期を固定します。学校規模によって「第1週が1年生、2年生は第2週」のように学年で実施時期をずらしします。さらに、指定する図書の分野についても、今月は1組が小説、2組は伝記など、学級でずらしても構いません。指定する図書について、年間計画表を作成しておくとい良いでしょう。
- *朝の読書で読んだ本をブックレビューする週を設定するなど、朝の読書と読書活動を連動させると、朝の読書の取り組みがより充実したものになると思います。

□ 「福岡アジア美術館」「福岡市総合図書館」からのお知らせ！

福岡アジア美術館・福岡市総合図書館で行われる読書活動について、毎月ご案内します。

* 福岡アジア美術館（7階 キッズコーナー）

♪「アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ」

同美術館では7階のキッズコーナーにて、
毎月第2・第4火曜日と第2・第4日曜日の
11:30～12:00 と 13:00～13:30 の一日2回、
ボランティアによる「読み聞かせ」があります。
6月23日以降および7月の実施日は次のとおりです。



- ・ 6月23日（火） ・ 6月28日（日） ・ 7月12日（日） ・ 7月14日（火）
- 定員：子どもと保護者 10 組程度（事前申込みは不要。当日先着順です。）

* キッズコーナーには、アジア各地のめずらしい絵本が約 500 冊もそろっています。
あわせてお楽しみください。

* 「おいでよ！絵本ミュージアム」会期中（7/24～8/20）はTNCアナウンサー、
ボランティア他による絵本の読み聞かせが毎日開催されます。（ラウンジM8にて）

* 福岡市総合図書館（こども図書館内 おはなしの家）

♪「夏休み 図書館の達人講座」

～図書館員が教える調べ方のコツ～

小学校の4・5・6年生を対象とした、上記の
講座が今年も夏休みに実施される予定です。
図書館にはいろいろな本がありますが、どの本
で調べたらいいいのか、どんなふうに調べるのか、
図書館の本を使った調べ方のコツが学べます。

申込み方法など、詳細は7月中旬に発行され
る「市政だより（7月15日号）」または、福岡市
総合図書館のホームページでご確認ください。



♪「おはなし会」

こども図書館 おはなしの家では、幼児・小学生を対象としたおはなし会を、毎週
行っています。日時はそれぞれ次のとおりです。

- ・ 幼 児 向け：毎週土曜・日曜 14:30～15:00
- ・ 幼児～小学生向け：毎週日曜 15:15～15:45

□ 図書館歳時記（7月）

*** 特集や企画等の展示
のヒントにどうぞ！**

✿ 記念日関係

* 7月1日：「童話・童謡の日」

大正7年のこの日、児童文学者・鈴木三重吉により、童話童謡雑誌「赤い鳥」が創刊されたことにちなんで、日本童謡協会が1984年に制定しました。鈴木三重吉は芥川龍之介や有島武郎らに児童文学の筆をとらせる一方で、北原白秋や西条八十、野口雨情らの詞への作曲を山田耕筰に依頼しました。おかげで、現在広く親しまれている児童文学や童謡がたくさん生まれました。

* 7月4日：「不思議の国のアリス」が刊行された日

原本だけでなく、ディズニーやジョニー・デップ主演の映画でも親しまれている「不思議の国のアリス」は1865年のこの日刊行されました。当初、作者のルイス・キャロル自身が出版費用をもち、2,000部刷られました。ところが、挿絵を担当したテニエルが印刷に不満を持ち抗議したため、初版本はすべて回収され、改めてその年の11月に刊行し直されました。

我が国には続編といえる「鏡の国のアリス」の方が先に翻訳されています。

「不思議の国のアリス」の方は明治41年「少女の友」という雑誌に「アリス物語」というタイトルで連載物語として掲載されたのが初訳となりました。

原作者のルイス・キャロル（1832-1898）の本名はチャールズ・ドジソン、男性で職業は数学者でした。この物語を書くことになったきっかけについては、このような話が残っています。キャロルは当時学寮長の家族とよく交際していました。ある日ピクニックで学寮長の三姉妹に語った自作の作り話を、三姉妹の一人であるアリスがいたく気に入って、ぜひ文章にするように彼にせがんだのです。その年のクリスマス、ルイスは「地下の国のアリス」と題された肉筆本を、アリスにプレゼントしたとのことでした。

* 7月10日：初めて文庫本が創刊された日

昭和2年のこの日、「万人の必読すべき真に古典的価値のある書」を低価格で広く普及することを目的に岩波文庫が創刊されました。日本初の文庫本の誕生です。ちなみに、最初の刊行作品は「新訓万葉集」などでした。

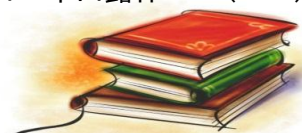
* 7月23日：「日本新聞協会」設立

社団法人「日本新聞協会」は、我が国の新聞、放送、通信の企業・個人で構成される業界団体です。1946年のこの日、新聞社などが倫理の向上を目指す自主的な組織として創立されました。日本新聞博物館が横浜市に開設されています。

✿ 6月・7月に関係する文学者・詩人・俳人たち

♪ 6月・7月生まれ的主要文学関係者

6月27日	小泉八雲	(1850)	7月2日	ヘルマン・ヘッセ	(1877)
6月28日	佐野洋子	(1938)	7月15日	国木田独歩	(1871)
	「百万回生きたねこ」		7月21日	ヘミングウェイ	(1899)
6月29日	サンテグジュペリ	(1900)	7月23日	幸田露伴	(1867)
	「星の王子さま」				



♪ 6月・7月に亡くなった主要文学関係者

6月23日	国木田独歩	(1908)	7月7日	ヨハナ・スピリ	(1901)
6月23日	壺井 栄	(1967)		「アルプスの少女ハイジ」	
	「二十四の瞳」		7月7日	アーサー・コナン・ドイル	(1930)
6月27日	トーマ・ヤツソ	(2001)		「シャーロック・ホームズ」	
	「ムーミン」		7月9日	森 鷗外	(1922)
7月2日	ヘミングウェイ	(1961)	7月31日	サンテグジュペリ	(1944)

□ ご活用ください！ 福岡市学校図書館支援センター ～役立つサイト～

学校図書館が持つ「読書センター」としての機能と「学習・情報センター」としての機能が、効果的に発揮されることを目的に設置された福岡市学校図書館支援センターですが、この4月から本格稼働しています。学校図書館の運営に関する電話相談や、効果的な書架の配置についてなど、すでに多くの問い合わせをいただいています。特に書架の配置については、実際に学校を訪問し、現場を見ながら助言にあたっており、訪問した学校数もすでに10校近くになるとのことです。

相談は電話、来所、FAXのいずれも可能です。福岡市総合図書館のホームページにアクセスすると、学校図書館支援センターのサイトへの窓口があります。要請訪問の依頼書など、そのサイトからダウンロード可能です。下に、総合図書館のホームページのアドレス、ならびに学校図書館支援センターの電話番号を記していますので、もし学校図書館の運営などでお悩みのこと等があれば、一度相談されてはいかがでしょうか。

福岡市学校図書館センターへのアクセス：

http://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/support_centers/index/

電 話：092-852-0639 FAX：092-852-0801

* なお、学校図書館支援センターの場所は団体貸出室内です。来所の際には駐車場側の職員通用口から入られてください。（左手奥です。）

□ 図 書 館 員 の ひ み つ の 本 棚 《 No.110 》

福岡市総合図書館 読書相談員の重村さやかさんが、毎月素敵な本を紹介してくださる
楽しいコーナー。今回の本も先生方（特に社会科！）にもおすすめです。

実際にアメリカで起きた話で、この裁判がアメリカにおける報道の自由の確立に向けた
第一歩を築くことになったと言われています。この事件の主人公ピーター・ゼンガーのこ
とは在日米国大使館のホームページにも紹介されています。

ちなみに、記者あとがきを書いてある内容は、現在のネット社会に対する警鐘として大いに
同感させられます。ぜひ、ご一読を！

☆ 今月の本：『印刷職人はなぜ訴えられたのか』（ゲイル・ジャロー／著
幸田 敦子／訳 あすなろ書房 2011年 1300円）

♪ あとがきにかえて * * * * *

・梅雨に入り、昼休みに外で遊べない子どもたちが、学校図書館につめ
かけ、にぎわっていることでしょう。これを機に、本を読むことのおも
しろさを子どもたちが実感してくれるといいですね。



・6月20日と27日の両日、福岡市総合図書館にて小学校5・6年生を対象として、
「読書リーダー養成講座」が実施されます。その模様はこの通信の7月号で詳しく報告
いたします。

・この通信ではできるだけ色々な学校の活動例を紹介したいと思っています。特に
先生方や学校司書がそれぞれの学校で実践されていることを「読書活動あれこれ」とし
て記事にまとめたいと思っています。優れた実践を広くたくさんの学校に広めるため
にも、ぜひ各学校・園からの情報提供をお願いいたします。連絡先は下記のとおりです。
どしどし情報をお寄せいただきますよう、重ねてお願いいたします。

発 行： 福岡市教育委員会 生涯学習課

電 話： 711-4655 FAX： 733-5538